

授業 科目名	【G】	心理学Ⅰ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	心理学Ⅰ			【H】1		【H】2	
	【I】	心理学Ⅰ	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	基本科目:【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目(---公民--)							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(---公民必修--)科目 【H】 教員の免許状取得のための(---公民必修--)科目 【I】 教員の免許状取得のための(---公民必修--)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項: 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」(高一種免公民)							
サブ タイトル	感覚と社会的行動				担当者	赤川 紗弥華		
授業概要	【概要】	<p>本科目は、心理学を初めて学ぶ人にも配慮した心理学入門科目である。心理学は、人の心や行動を多様な視点から捉える学問であり、本科目では、人間の知覚、記憶、思考といった基礎的な心のはたらきに加え、社会的存在としての人間の行動や認知について学ぶ。さらに、恋愛や友人関係など日常生活に身近な人間関係を題材としながら、人が環境から得た情報をどのように受け取り、意味づけ、行動へとつなげているのかを、「心理現象の生起メカニズム」という視点から理解することを目指す。日常の経験を心理学的に捉え直すことで、人の行動や対人関係への理解を深め、コミュニケーション理解の基礎を身につけることを目的とする。</p>						
	【到達目標】	<p>【到達目標】①心理学の全体像を理解し、心理学が人の心や行動をどのような視点から捉える学問であるかを説明できるようになる。 ②人間の知覚・記憶・思考といった心のはたらきや、社会的存在としての人間の行動・認知について、基礎的な理解を深められるようになる。 ③人間関係やコミュニケーション、恋愛など日常生活の身近な場面を心理学的視点から捉え、心理学の基本的な考え方を日常生活に活かして考えられるようになる。</p>						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【○】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との 関係	特になし							
教科書	【教科書】『グラフィック心理学』北尾倫彦,中島 実,井上 毅,石王敦子 共著 サイエンス社							
参考書	【参考書】①『なぜ人は他者が気になるのか?』永房典之 編 金子書房②『学校カウンセリング』友久久雄 編集 ミネルヴァ書房 ③よくわかる臨床心理学 岩壁茂 監修 ナツメ社							
評価方法	授業への参加態度、出席率(50%)、学習到達度確認テスト(50%)							
フィードバック 方法	<p>本科目では、各回の講義で使用する資料を事前に提示し、受講者はそれをもとに授業に臨む。講義では、空欄形式の配布資料およびPowerPointを用い、重要なポイントについて書き込みを行いながら理解を深める。</p> <p>知識の定着および講義内容の振り返りを目的として、各回の授業終了時に「課題プリント」を実施し、当該回の授業内容に関する理解度を確認する。課題プリントには、授業に関する疑問点や質問、意見を記入することができ、それらについては次回以降の授業内で可能な範囲で取り上げ、解説を行う。</p> <p>また、授業後には当該回の講義資料をアップロードし、これまでの授業内容の復習や再整理を行うための自習教材として活用できるようにする。これらの取り組みを通して、受講者が各回の学習内容を振り返り、理解を深めていくことを支援する。</p> <p>成績評価は、授業への取り組み状況、学習内容の理解度、提出物等を総合的に評価して行う。</p>							
評価基準	授業内容記載の各単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など、評価不能の場合には、「F」とする。							

科目コード A501-1-X (科目一覧番号:36)

授業 科目名	【G】	心理学 I	区 分	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	心理学 I	その他参照	【H】1		【H】2
	【I】	心理学 I			【I】1	
授業回数	授業内容					
1	オリエンテーション 心理学 I の進め方 (シラバス詳細、心理学とは) 予習: 参考書『なぜ人は他者が気になるのか?』P120~P133を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
2	知覚① 外界をどのように知るか 予習: 教科書P11~P25を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
3	知覚② 知覚の情報処理 予習: 教科書P24~P36を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
4	記憶① 記憶のメカニズム 予習: 教科書P37~P57を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
5	記憶② 日常生活における記憶/なぜ人は世間が気になるのか 予習: 教科書P57~P62を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
6	思考① 考えることのしくみ/なぜ人はネットにはまるのか 予習: 教科書 第3章を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
7	思考② 問題解決・推理における思考/他者と比べる心 予習: 教科書P64~P79を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
8	思考③ 意思決定の特性 予習: 教科書P78~P114を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
9	感情① 喜怒哀楽/片思いを实らせるためには 予習: 教科書P116~P134を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
10	感情② なぜその人は相手を傷つけるのか/パーソナリティのとらえ方 予習: 参考書(なぜ人は他者が気になるのか)P106~P117教科書P150~162を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
11	食行動 Binge eating disorderに関する研究 予習: 参考書(なぜ人は他者が気になるのか)P134~147を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
12	社会的認知① 他者を知ることのしくみ 予習: 教科書P87~P95を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
13	社会的認知② 対人関係の認知 予習: 教科書P98~P103を読む(計60分程度) 復習: その日に配布したプリントやノートを確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
14	社会的認知③ 説得のテクニック&集団生活でおこる同調 予習: 教科書P104~P114を読む(計60分程度) 復習: 授業内で配布したプリントやノートを再確認し、自分なりに整理してくる。(計120分程度)					
15	学習到達度確認テスト実施と、その解説 予習: 確認テストに向けて、今までの講義で使用したプリント、教科書やノートの再整理、確認をする(計60分程度) 復習: 確認テストの自己復習をする(120分程度)					
その他	本科目では、各回の講義においてパワーポイント資料を用いて授業を行う。資料は原則として前週までにアップロードするため、各自プリントアウトし、教科書およびノートとあわせて準備することが望ましい。講義中は、配布資料への書き込みやノートへの記録を通して、重要なポイントを整理しながら受講してほしい。 講義後は、配布資料やノートをもとに内容を振り返り、復習・再整理を行うことを推奨する。なお、「予習・復習」に要する時間の目安については、参考として別途提示する。					

毎回の授業では、内容に関する感想や意見を共有してもらい、今後の授業改善に活かしていく予定である。授業中に生じた疑問点や質問、個別に相談したい内容がある場合は、課題プリントに記入するか、講義後に遠慮なく申し出てほしい。
※G・H・功【法】【選択必修修(キ)】スポ【選択必修修(ク)】情【選択必修修(キ)】

科目コード A501-1-X (科目一覧番号 : 36)